

子供たちの居場所 「遊べるまちのプレイステーション【遊村あばしり】」

北海道網走市

活動名

網走市放課後子ども教室推進事業
「遊村（アソビレッジ）あばしり」による活動

関係する学校

市内全小学校（9校）

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア参加数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		4人	10人	409日	有	有	無	有
		実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携		
		体育館、音楽練習室、アトリエ、集会室 など			18年度	連携なし		
		指定日			委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

- ・平成17年度に実行委員会が組織され、18年度から本格的に始まった取組は10年目を迎えた。5教室・延べ実施回数282回・延べ参加者数2,092名で始まった取組は、現在では市内で9教室・延べ実施回数409回・延べ参加者数約4,500名が取り組む。
- ・網走市が主体となって国の補助事業の一部を実行委員会に委託し、実行委員会組織内の市民団体が実施している。
- ・子供たちが放課後や週末を安全で安心して活動できる場「子供の居場所」を市内小学校区に開設し、それぞれの団体の個性を生かしたプログラムを用意して、体験・交流活動を提供している。
- ・現在、放課後子供教室は「遊村（アソビレッジ）あばしり」の愛称で市民に親しまれている。

特徴

【特徴的な活動内容】

活動は多様。①体育が苦手な子のための体育教室では楽しみながら体育に挑戦。②ジュニア合唱団 オホーツクKIDSコールでは合唱と音楽遊び。③トランポリンあそびでは空中で宙返りやジャンプ④スナックゴルフではプラスチック製クラブでゴルフ。⑤キックベースボールでは野球に似たルールで足で遊ぶ。⑥アート体験では様々な絵を書いたり工作をする。

メニュー例「大きな絵に落書きをしよう」「ワイヤーで遊ぼう」「フィンガーペインティング」「コマで遊ぼう」「CDケースをアートしよう」「石をアートしよう」「光のアート」「ボディペイントで遊ぼう」「造形遊び」「ペットボトルをアートしよう」「絵を描こう」「共同制作」「絵本を作ろう」

⑦元学校教諭の団体では、水泳、竹馬、身体運動、なわとび、ゲーム、書道、学習（テキスト活用、英会話、読み聞かせ等）

【実施に当たっての工夫】

①毎月実施団体の代表であるコーディネーターが一堂に集まり企画会議を行うことで、情報共有と課題解決がされている。

②地域にある施設や団体独自の施設を有効に活用し、特色ある様々なプログラムが提供されている。これにより、子供たちの様々な活動のニーズに対応している。

③以前より障がいのある子供たちを受け入れている団体が実施していることから、子供たちは区別なく同じ空間で活動を行っている。また、スタッフの大人も子供たちを見守りながらしっかり活動をサポートしている。これにより、子供たちの多様な経験の場づくりに貢献している。④前期（5月初旬～9月）と後期（10月～2月末）に分けて実施している。これにより、子供たちの多様な興味関心に応えている。



オホーツクスポーツクラブ トランポリンあそび

事業を実施して

- ・地域の大人が、子供たちとの交流を通して生活の潤いや生きがいができた。
- ・安心・安全な居場所を提供することで、子供たちが楽しんで活動することができた。
- ・それぞれの団体が個性を生かした学習・体験プログラムを実施し、放課後や週末に安全で安心な居場所を提供することができた。

その他

【企業・NPOとの連携】 特定非営利活動法人 オホーツクスポーツクラブ、特定非営利活動法人 アートユニオン・オコック

【学習支援活動】 団体名「こどもみらい」（元学校教諭で構成される団体）が学校の宿題を支援したり、市販の学習教材を活用して学習支援をしたりしている。

・実行委員会は年2回開催し、企画会議は11回開催している。
市内全ての小学生を対象に事業を実施していること及び平成26年度では市内で9教室・延べ実施回数409回・延べ参加者数約4,500名となり、10年間で活動が定着してきている。

・実行委員会組織の構成は委員長は市内コミュニティーセンター運営協議会から選出、副委員長は網走市小中学校校長会から推薦された校長並びに網走市役所福祉部子育て支援課長並びに網走市教育委員会社会教育部社会教育課長が担い、理事は実際に受皿となる団体4団体の代表が担い、幹事には理事の団体からの実務者4名からなり、監査は外部と内部から1名ずつからなり、事務局は教育委員会社会教育部社会教育課生涯学習係員3名からなる。



アートユニオンオコック 大きな絵に落書きをしよう